

# 生物科学学会連合 声明

平成 28 年 4 月中旬に発生した熊本地震につきまして、  
被災された皆さまにお見舞いを申し上げますとともに、熊本地方の  
教育研究機関に対する緊急の財政支援を政府に要望いたします。

平成 28 年 4 月 25 日

生物科学学会連合 代表 中野明彦

個体群生態学会	一般社団法人 日本生態学会
日本味と匂学会	一般社団法人 日本生物教育学会
日本遺伝学会	一般社団法人 日本生物物理学会
一般社団法人 日本宇宙生物科学学会	一般社団法人 日本生理学会
一般社団法人 日本解剖学会	一般社団法人 日本蛋白質科学会
一般社団法人 日本細胞生物学会	公益社団法人 日本動物学会
日本時間生物学会	公益社団法人 日本農芸化学会
公益社団法人 日本実験動物学会	日本発生生物学会
公益社団法人 日本植物学会	日本比較生理生化学会
日本植物形態学会	日本比較内分泌学会
一般社団法人 日本植物生理学会	日本微生物生態学会
日本進化学会	特定非営利活動法人 日本分子生物学会
日本神経化学会	日本分類学会連合
日本神経科学学会	特定非営利活動法人 日本免疫学会
公益社団法人 日本生化学会	公益社団法人 日本薬理学会

(以上 30 学協会 団体名 50 音順、会員数総計 約 9 万人)

平成 28 年 4 月 14 日の前震に始まり、16 日未明の本震、そして数多くの余震と、熊本地方を襲った地震は、多くの尊い人命を奪い、また非常に多くの方々が被災して避難生活を余儀なくされるなど、大きな被害を与えました。亡くなられた方々のご冥福を祈り、そのご家族に衷心からのお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。ライフラインが復旧し、一日も早く落ち着いた日々が回復することを心から念じています。

さて、この震災によって、熊本大学をはじめとする多くの教育研究機関にも甚大なる被害が生じています。建物の損壊、機器の損傷など、復旧には相当の時間を必要とするものと予想されます。人への支援が最優先ではありますが、教育研究活動の空白が長期に亘ることのないよう、わが国の研究者コミュニティーを挙げての支援が必要とされていると考えます。とくに生物科学・生命科学の分野では、貴重な研究材料である実験動物、細胞などの保全が喫緊の課題であり、そのために、生物科学学会連合では、できる限りの協力を惜しまぬ決意です。すでに複数の学協会が学生・研究者の受け入れ、研究スペースの提供、実験材料の保管と提供などを申し出ています。また速やかな復興のためには政府予算の投入による財政的支援が不可欠で、科学の損失を最小限に留めるための緊急予算措置を政府に要望いたします。すでに実験動物施設の危機的な状況に対し、安倍晋三首相が速やかな支援を約束してくださったとの報道を聞き、研究者コミュニティーとして謝意を表したいと思います。引き続き、暖かい支援を続けてくださることを切に要望いたします。

問い合わせ先

生物科学学会連合

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 浜田ビル 5 階

中西印刷株式会社東京営業部内

TEL: 03-3816-0738

FAX: 03-3816-0766

E-mail: [seikaren@nacos.com](mailto:seikaren@nacos.com)

URL: <http://www.nacos.com/seikaren/>